



人が自然と共に生きる町づくり

◆建設事業協同組合

5月28日(火)富士見建設事業協同組合は、道路や河川の危険箇所調査を行いました。日頃、危険に気がついた場所や住民の方から改修要望がある場所を中心に、町内を巡回しました。

今後は、記録された状態や規模により、それぞれ改修方法が協議・検討され、地域の方々が「安心して暮らせる町」を未来につなげていきます。



心に響いた「ひとつ」への想い

◆富士見小学校 運動会

6月1日(土)富士見小学校で運動会が行われました。競技ごと紅白の勝敗により加点され、大変、熱気に包まれた空間となりました。

相手との戦いは「自分自身への全力」でもあり、仲間と協力することも大切です。児童たちは、この瞬間の「輝き」をブレることなく、持ち続けていくことでしょう。



緑に抱かれ季節の優しさを感じる

◆入笠山開山祭

6月1日(土)入笠山(1,955m)の開山祭が入山者の安全無事を祈り、開催されました。安全祈願の後には、諏訪アルプホルンクラブの方たちにより、入笠山に抱かれるような優しい音色が披露されました。

私たちは、この山と共に生き、この山に見守られ、美しい自然の恩恵を頂いています。いつまでも入笠山の花たちが、寄り添い咲き続けることを願います。



姉妹町 西伊豆だより

時間限定“海の道”歩いてみませんか？

「トンボロ」という言葉をご存知ですか？

これは、イタリア語で普段は海で隔てられている陸地と島が、干潮時に砂州などでつながる現象のことを言います。世界遺産にも登録されているフランスのモン・サン＝ミシエルは有名です。

西伊豆町の堂ヶ島でも、トンボロにより対岸にある三四郎島に歩いて渡ることができます。

5月26日に行われた「堂ヶ島トンボロ遠足」では、たくさんの家族連れが参加し、三四郎島にできた潮だまりにすむ貝やヒトデなどの生物を探して楽しみました。この日はイベント参加者以外の訪問者も多く、中にはカサゴやタコを釣り上げた人もいました。

3月～9月上旬の干潮時の約90日、しかも一日のうちの数時間しか現れませんが、石を裏返したりすると、気軽に海の生き物を観察でき夏休みにちょうど良いスポットです。潮位表をチェックして、ぜひ一度ご家族で訪れてみてください。

問 西伊豆町観光協会 ☎0558-52-1268
<http://nishizu-kankou.com/topics/2013/01/000422.php>



▲“海の道”を歩く人たち



▲普段は海で隔てられています